

# 鈴木君からのたより

—世界旅行編—  
(1979年～1981年)  
鈴木 康司 作

2013年7月9日  
編集 木場 薫

## はじめに

そろそろやり残してきた事をふりかえってみる年齢になったことを口実に煩雑な仕事から遠ざかり、家の中にあるさまざまな遺物の整理を始めた。これがなかなか面白く、かつての友人たちからもらった郵便物などは、読み返しているうちに『俺たちはこんなにまじめに生きてきたんだぞ』というようなものがぞくぞくと現れてきて、うれしくなってきた、なんとかこれらを記録として残したいと思うようになってきた。

大学時代の友である鈴木康司君がよこした世界旅行の絵葉書もそのうちのひとつであり、もう30年以上過ぎてしまっているのに、その文面の新鮮さはあのころより今の方がジーンと熱く心に響いてくる。葉書そのものは、保存状態があまり良くなって、当時の風景写真としての記録価値は、ドーカナと言う気もするが、私にとっては、大切にしたい宝物である。

彼が寄せてくれた各地の様子はとても理解しやすいし、また彼の感想・独白は、今、読み返しても「全くそのとおり！」といたいところが多く含まれている。

あの頃、日本をきちんと見つめなおしたいという夢を抱いて、職を捨て広い世界に飛び出した鈴木君の勇氣にいまさらながら感心するとともに、同世代を生きた人間として、とても誇りに思う。老いてますます血気盛んに活躍しているであろう彼を想像するとまた嬉しくなる。

平成25年7月9日 木場 薫

## 目 次

はじめに	2
1. 1979年6月20日 アメリカ・サンディエゴ	4
2. 1979年8月5日 カナダ・ウィニペグ	5
3. 1979年9月11日 アメリカ・フロリダ	6
4. 1979年10月13日 メキシコ・メキシコシティ	7
5. 1979年12月31日 ブラジル・イグアスの滝	8
6. 1980年4月18日 スイス・チューリッヒ	9
7. 1980年7月2日 オランダ・アムステルダム	10
8. 1980年9月28日 トルコ・カッパドキア	11
9. 1980年12月20日 ケニア・ナイロビ	12
10. 1981年1月27日 インド・カジュラホ	13
11. 1981年5月24日 シンガポール	14
12. 1981年8月6日 台湾・台北	15
13. 1981年9月23日 韓国・ソウル	16
おわりに	17
【感想・評価】	18
①鈴木康司 2013/07/16 (火) 20:16	18

1. 1979年6月20日 アメリカ・サンディエゴ

拝啓 元気ですか。俺は今メキシコとの  
国境に程近いサンディエゴという町の安  
ホテルに居ます。昨日、ロサンジェルス  
から着いた所です。ロサンジェルスでは、  
渡辺のアパートに1週間程居候し、市内  
見物や水泳、ゴルフ、プロレス観戦等を



楽しみました。このハガキはハリウッドの近くにあるユニバーサルスタジオ  
を見学した時のものです。こちらの気候は毎日晴れていて、日差しが強く非  
常に暑いですが、空気が乾燥しており 日が暮れるとすぐ肌寒くなります。  
サンディエゴの町の中心には黒人やメキシカンがたむろし、少々気味が悪い  
です。これから南を少し回り、北上しカナダに向います。

それではサヨウナラ

鈴木康司 6 / 20



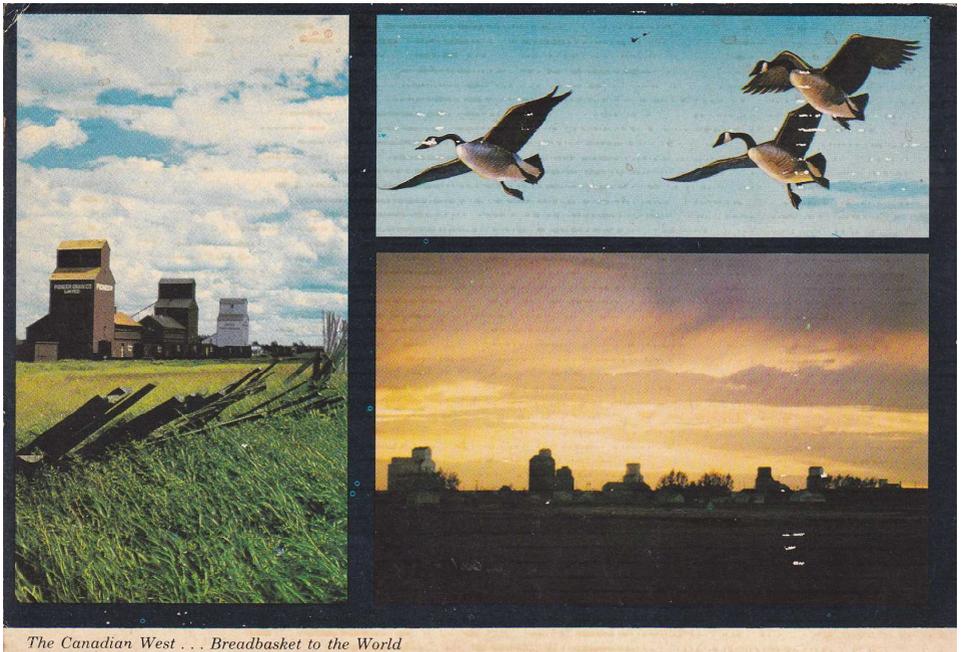
## 2. 1979年8月5日 カナダ・ウィニペグ

拝啓 沖縄はまだ暑いでしょう。ここカナダから涼しい風を送れば良いのだけれど。カナダに来て驚く事は自然がみんなに大切にされ、とてもキレイ（汚されていない）だという事です。

人々のマナーもさる事ながら、それを

裏付けするゴミ箱の設置と合理的な回収（大型のゴミトラが観光地を回っている）また清潔なトイレの設置等カナダの人達は自然保護に金と神経を使っています。カナダより面積が狭く人口の多い日本がこのままの状態を続けたら美しい日本はなくなってしまうでしょう。ゴミはクズカゴに、自然を大切にしましょう。

カナダ・ウィニペグにて 鈴木康司 8/5



The Canadian West . . . Breadbasket to the World

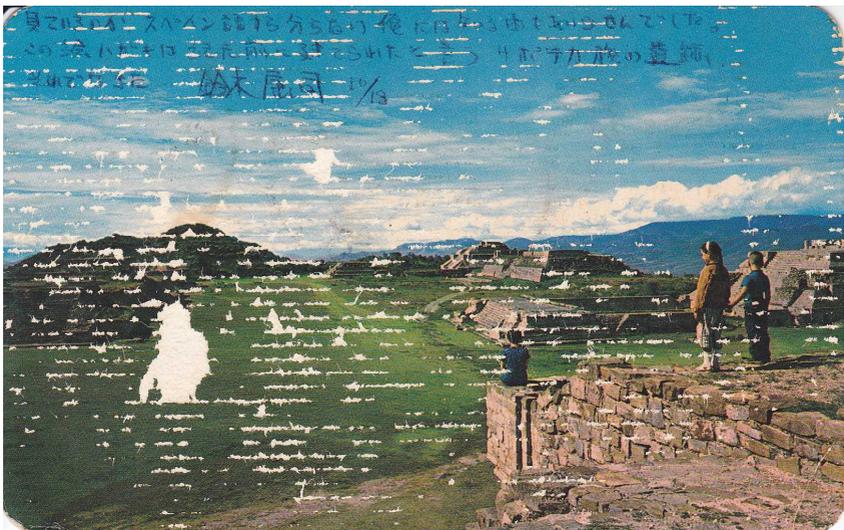
3. 1979年9月11日 アメリカ・フロリダ

拝啓 長くて暑い沖縄の夏をしかしながら元気に乗切っている事と思います。先日フロリダにあるケープカナベラルを見学して来ました。以前木場と行った晴海の宇宙博の様なものですが、とにかく広い広い、広～い敷地の中に絵ハガキに見る様な発射台がトン、トン、トンと40余りも立っているのです。コントロールセンターの中も見ることができました。アポロ11号の発射風景を映画で見ていると、コンピュータで多くの近代技術を駆使したとしても、やはり多数の人間の力が成し遂げたものだという思いがしました。それではまた 鈴木康司 9/11



4. 1979年10月13日 メキシコ・メキシコシティ

拝啓 元気で居る事と思います。メキシコシティで博物館に行って来ました。約400年前アステカ族が湖上に築いた都市は金銀財宝を求めるスペイン人により破壊されました。これがメキシコシティの前身です。多数のピラピッドは全て壊され湖の底に沈められ代わりにキリスト教の大寺院が建てられました。これらの重労働や彼等をキリスト教に改宗させる為の多くの拷問が長い間続きました。当時のスペイン人は強姦や暴力の限りをつくしたと言われていています。丁度俺が博物館に行った時、中学生位の学生が何人も展示物を見ながらノートを取っていました。現在、アステカ族とスペイン人の両方の血を引く彼等がどの様な気持ちでそれらの絵や展示物を見ているのか、スペイン語さえ分らない俺には知る由もありませんでした。この絵ハガキは紀元前に建てられたと言うサポテカ族の遺跡。それではまた鈴木康司 10/13



5. 1979年12月31日 ブラジル・イグアスの滝

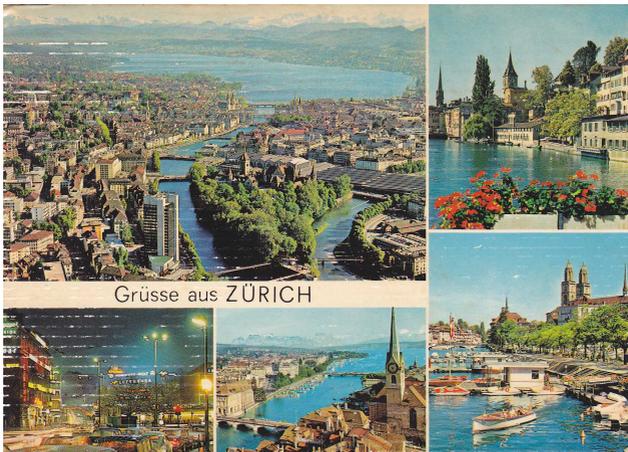
新年明けましておめでとう。今年も我々にとって良き年であります様に。俺はこれから南の国の暖い正月を迎えようとしています。しかし、そう言えば木場の居る沖縄の正月も確かそんなに寒くなかったナー。約3ヶ月かかった中南米の旅も終りに近づき、今南米最後の国ブラジルに居る。昔、木場達と東京に来たのはアルゼンチンの女の子だったっけ。アルゼンチンは国も大きく工業、農業もさかんで豊かな国ですが、人間がオーヘーで、物価も日本位高く正直な所、全く印象の悪い国の内のひとつです。今この絵ハガキのイグアスの滝に居て、これからバスでサンパウロに向いそこで正月を迎えようと思っている。一番初めは英語、メキシコからスペイン語、これからポルトガル語、2週間後アフリカに入ると今度はフランス語、全く俺の頭も狂気の一步手前で頑張っている。アフリカは実際どうなるか分からないが根性で乗り切る以外にない。

それではまた。 鈴木康司 12/31



6. 1980年4月18日 スイス・チューリッヒ

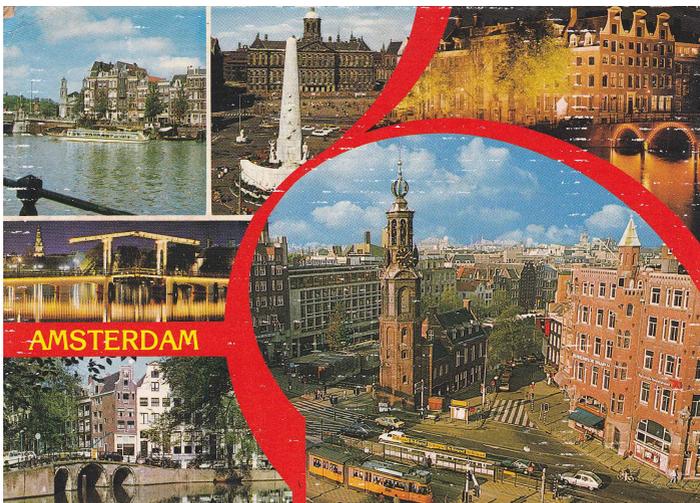
拝啓 木場もキヌチャンも子供達もそれからオバサンも元気で居る事と思います。アフリカからヨーロッパに入った時、スペインですら、その文化と人々の豊かさに驚き、イタリアでは無数の美術品に押しつぶされそうになり、オーストリアから今スイスのチューリッヒに来てやっと落ち着きを取戻した所です。しかし慣れてくると何となくタイクツして来ます。確かにヨーロッパはどこを見ても美しいのですが、何から何まで整っており、「何だこれは、今まで見たこともないゾ」ト言う様なものが、南米のインディオの女の人は道端にしゃがんで大きなスカートで見えない様にしてオシッコをしたりする様な事が、ここでは見られないのです。その代わりに日本で見るよりもっとすまして、賢そうな人々は町中に居ます。こっちまでコチコチになりそうです。賢い事は良い事ですが、もっと明るくできないんでしょうかネー、マツタク。チューリッヒは、今春、町中で花が見られます。それではまた 鈴木康司 4/18



7. 1980年7月2日 オランダ・アムステルダム

拝啓 木場も元気で毎日を過ごしている事  
 と思う。俺も今オランダのアムステルダムの  
 ユースホステルでバッチリ元気でこの葉  
 書を書いている。フランスより北のヨーロ  
 ッパでは高くとても普通のホテルには泊  
 れない。今まで持っていたユーレイルパス  
 も既に切れ、現在はヒッチハイクで北欧を目指し旅を続けている。しかし食  
 事だけは体をこわして病気でもするとこまるので、マーマーのものを食べて  
 いる。日本から見るとヨーロッパの国々は（ドイツは除いて）古くて、もう  
 どうしようもない国の様に思われているが、少なくともヨーロッパの人々は  
 日本人より賢いと俺には思われた。確かに日本人の方がより働くが、「人間  
 らしい行き方」をヨーロッパの人々は伝統的に長い間、投げだす事もなく追  
 究し続けている気がする。日本人はより他人まかせで、且つ根気強く目的意  
 識を持つことは少ない様な気がした。

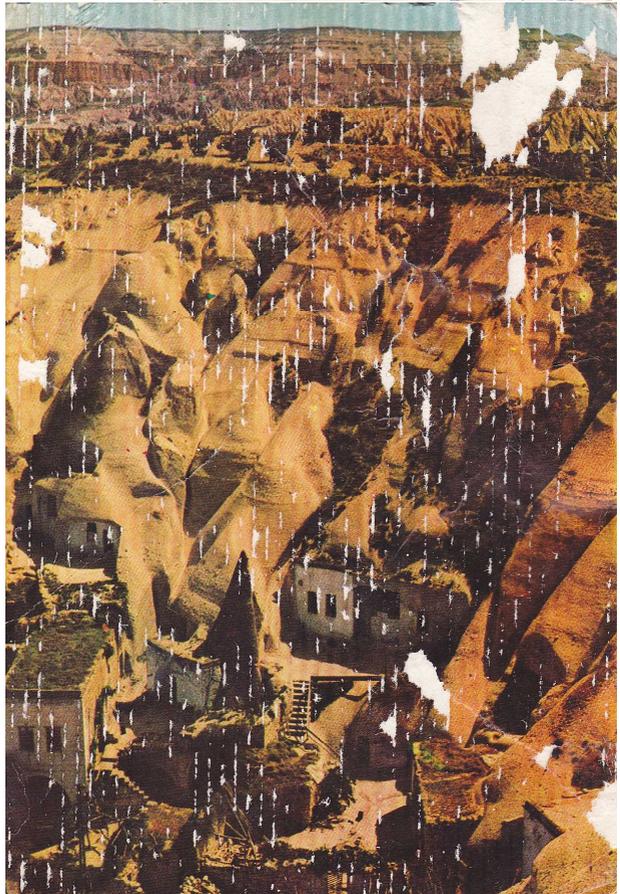
それではまた 鈴木康司 7/2



8. 1980年9月28日 トルコ・カッパドキア

拝啓 元気で居る事と思う。今、トルコの中程にあるカッパドキア地方と言って、300万年前の溶岩が侵しよくされてできた非常に変わった地形の所に居る。昔、人々は岩をくり抜いて作った家に住んでいたと言われるが、絵葉書で見る様に今でもそれが残っている。今、何やらイランとイラクが戦争をおっ始めたらしいが、せつかく作った石油基地をぶっ壊し合って、いったいお互いに何の利益があると言うのだろう。だからアラブ人は馬鹿だと言われるのだ、本当に。今、日本も軍備を拡張しているらしいけど、やっちゃいけないんだ戦争は、もう絶対に。二度と日本は・・・日本人は繰り返しちゃいけないんだ馬鹿な事は。

それでは 鈴木康司



9. 1980年12月20日 ケニア・ナイロビ

拝啓 元気で新しい年を迎えようとして  
している事と思う。俺は今ケニアの  
ナイロビで81年を前にしている。  
アフリカは旅をするには非常に疲れ  
る所で、3~4日汽車に乗り続けだ  
ったり、1週間トラックで移動し  
たりする事も珍らしくない。ヨーロッ  
パと違ってアフリカは都市を外れると  
すぐ田舎と言うか何も無い所になっ  
てしまう。ある時は砂漠だったり、草  
原だったりジャングルだったり、そ  
んな時は食事や寝床も思う様にゆか  
ない。水を飲みながらパンをかじっ  
たり、土の上に寝た事も多い。その  
代わりに、今でも裸でヤリや弓を  
持った男達や上半身裸の女達を見  
る事が出来る。来るべき年が希望に  
満ちた佳き年であります様に

鈴木康司 12/20



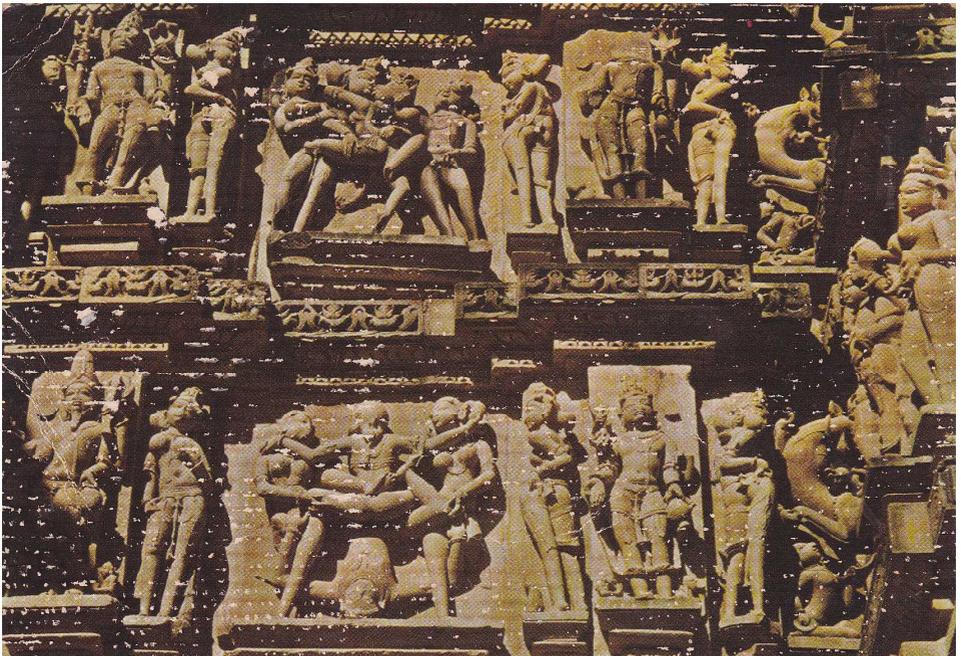
10. 1981年1月27日 インド・カジュラホ

拝啓 カミさん共々元気で仲良くや  
っている事と思う。俺は今インドに  
やって来て、デリーから南東に40  
0 km 位入った所にあるカジュラホ  
と言う町に居る。ここにある寺院は、  
多分ヒンズー寺院と思うが、それを  
とり巻く壁に彫られた、この絵葉書



に見る様な彫刻で有名でインド国内はおろか世界中からこれらの有類（たぐいませな？）の彫り物を拝もうと参拝者が絶えない。俺も御利益に預かろうと木場とキヌチャンの分まで、しっかりと拝んできた。しかし、これらが神様なものだから、実にインドとは不思議なところだ。

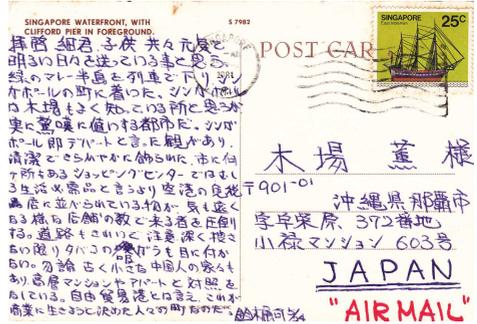
鈴木康司 1 / 27



11. 1981年5月24日 シンガポール

拝啓 細君、子供 共々元気で明るい日々を送っている事と思う。緑のマレー半島を列車で下り、シンガポールの町に着いた。シンガポールは木場もよく知っている所と思うが、実に驚嘆に値する都市だ。シンガポール即デパートと言った観があり、清潔できらびやかに飾られた、市に何ヶ所もあるショッピングセンターではむしろ生活必需品と言うより空港の免税店に並べられている物が、気も遠くなる様な店舗の数で来る者を圧倒する。道路もきれいで注意深く捜さない限りタバコの吸ガラも目に付かない。勿論古く小さな中国人の家々もあり、高層マンションやアパートと対照をなしている。自由貿易港とは言え、これが商業に生きようと決めた人々の町なのだ。

鈴木康司 5/24



12. 1981年8月6日 台湾・台北

拝啓

夏も盛りとなり毎日暑い中、仕事に又は家庭サービ  
ビスに忙しい事と思う。体を壊さず頑張ってくれ。

扱て、俺は現在、沖縄より南方数百Kmの所にある  
台湾に居る。これから 沖縄、九州と渡り最後の  
訪問国である韓国に向う予定。木場の予定がどうな  
っているのか全く分からないが、何年振りかでは是非、  
木場に会いたいと思っている。俺は8月26日台北より飛行機で沖縄に行く  
が、どうか出迎えには来ないで貰いたい。俺は現在自分では健康体と思っ  
ているが、多くの国々を訪れた際にどんなバイ菌が俺の体に付いているかも知  
れない。そのままでは木場にも絹チャンや子供達にも会ってはいけないと考  
えている。俺は空港からその足で直接どこかの海岸に行き2~3日海水浴で  
もしながら旅のアカを落したいと思っている。どうか今回は俺の我ままを聞  
いてくれ。そこで8月29日（土曜）に木場に連絡を取りたいと思う。その  
日本場は出社か絹チャンは今でも会社に行っているのかどうか分からないの  
で、多分昼頃、初めに木場のマンションに、誰も居なければ木場の会社に、  
それでも連絡が取れなければ春駒に直接訪ねて行こうと思う。どれかにひっ  
掛る様にしてもらえれば有難い。

当初1年の旅行の計画が、すでに2年を過ぎている。木場も木場の家庭も  
大きく変わった事だろう。俺が変わったかどうかは 俺自身では分らない。お互  
元気な姿で再開したいものと思っている。簡単だが、それでは再開の日を楽  
しみに。 敬具

台湾のホテルより 8月6日  
鈴木康司

拝啓  
夏も盛りとなり毎日暑い中、仕事に又は家庭サー  
ビスに忙しい事と思う。体を壊さず頑張ってくれ。  
扱て、俺は現在、沖縄より南方数百Kmの所にある  
台湾に居る。これから 沖縄、九州と渡り最後の  
訪問国である韓国に向う予定。木場の予定がどうな  
っているのか全く分からないが、何年振りかでは是非、  
木場に会いたいと思っている。俺は8月26日台北より飛行機で  
沖縄に行くが、どうか出迎えには来ないで貰いたい。俺は現在自分  
では健康体と思っているが、多くの国々を訪れた際にどんなバイ菌が  
俺の体に付いているかも知れない。そのままでは木場にも絹チャン  
や子供達にも会ってはいけないと考えている。俺は空港からその  
足で直接どこかの海岸に行き2~3日海水浴でもしながら旅のアカを  
落したいと思っている。どうか今回は俺の我ままを聞いてくれ。そ  
で8月29日（土曜）に木場に連絡を取りたいと思う。その日本場  
は出社か絹チャンは今でも会社に行っているのかどうか分からない  
ので、多分昼頃、初めに木場のマンションに、誰も居なければ木  
場の会社に、それでも連絡が取れなければ春駒に直接訪ねて行  
こうと思う。どれかにひっ掛る様にしてもらえれば有難い。  
敬具  
台湾のホテルより 鈴木康司



13. 1981年9月23日 韓国・ソウル

親愛なる友に

世界を広く旅して知る事は、地球上のどこにもユートピアは存在しないと言う事だ。・・・もし、この世にユートピアなるものがあるとすれば、それは他ならぬ自分の心の内にこそあるのだ。ユートピアを得んと欲するものがあれば、自らの心を育て少しずつ外に向って出し続けていく以外に道はない。59ヶ国目にて最後の訪問国韓国ソウルより 鈴木康司 9 / 23

PS 沖縄ではお世話になった



## おわりに

59ヶ国をめぐる鈴木君からのたよりは、私の手元には13通しか残っていない。本人かその友人たちが持っているものがあれば、ぜひそれもあわせて、収容したいと願っている。

彼からもらったたよりは、これだけにとどまらず、私の人生の節目節目には大体彼の登場があり、その頃の写真などの整理もこれからである。『世界旅行編』としたのもそのあたりの事を含めたつもりである。

今回は、たよりそのものだけにとどめ、私自身の感想も一切加えないことにした。酒でも酌み交わしながら当時の様子を語ってもらうことを希望したい。本編を公開できるかどうかは、本人からの許可を得なければならないが、せめて鈴木君を知る人たちには、このたよりを讀んだ感想なども聞いてみたいところである。

木場 薫

## 【感想・評価】

①鈴木康司 2013/07/16 (火) 20:16

木場殿

お元気ですか、ご無沙汰しています。

昔の絵葉書を持っていてくれて、どうもありがとうございます。

また、絵葉書を電子化していただけるようで本当にありがたいことだと思っています。どうかよろしくお願いします。

今、絵葉書を読み返してみると、何と生意気な書き方をしているのでしょうか。傲慢で、自己中心的な物の言い方で、読んでいて恥ずかしくなってしまう。

でも、当時は今とはまた違う、若さというか、何か勢いのようなものがあったのでしょうか。今となってはどうしようもありませんね。

お手数ですが電子化をよろしくお願いします。

木場も絹子さんもお子さん達もどうかお元気で。

また会いましょうね。